報道関係各位

2026年11月20日
東海旅客鉄道株式会社
株式会社LIXIL
ジェイアール東海商事株式会社

ＪＲ東海グループとLIXILが『東海道新幹線再生アルミ』を循環型低炭素アルミ「PremiAL」へと再生するエコシステムの構築

国内における資源循環を推進し、持続可能な社会の実現に貢献

東海旅客鉄道株式会社（以下「JR東海」）、株式会社LIXIL（以下「LIXIL」）、ジェイアール東海商事株式会社（以下「ジェイアール東海商事」）は、『東海道新幹線再生アルミ』を、LIXILの循環型低炭素アルミ「PremiAL（プレミアル）」シリーズとして活用する資源循環型エコシステム※を構築しました。
なお、『東海道新幹線再生アルミ』を活用した「PremiAL」は、第一弾として野村不動産株式会社および東邦ガス不動産開発株式会社が開発中の新築分譲マンションで、サッシとして採用されることが決定しています。
引き続き、今後の『東海道新幹線再生アルミ』を活用した「PremiAL」シリーズの展開拡大に向けて取り組んでまいります。
※本リリースにおける「エコシステム」とは、廃車となった東海道新幹線車両から高純度アルミを再生し、「PremiAL」シリーズとして製品・建材等に活用する資源循環システムを指します。



PremiAL × 東海道新幹線 再生アルミ

1．循環型低炭素アルミ「PremiAL」シリーズの特長

LIXILが30年近くに渡り築き上げたアルミリサイクル技術を活用した「PremiAL」シリーズは、建築物のエンボディドカーボン削減に大きく貢献できるソリューションの1つです。新地金を使用したアルミ形材と比較して、製造時のCO_2排出量を約50%削減する「PremiAL」を、LIXIL製品のアルミすべてに展開。リサイクルアルミ使用比率70%の「PremiAL R70」、および100%の「PremiAL R100」は、受注生産品として対応しています。
PremiALについて詳細はこちら：https://www.lixil.co.jp/lineup/s/premial/

2．『東海道新幹線再生アルミ』を活用した「PremiAL」シリーズ概要

『東海道新幹線再生アルミ』を活用した循環型低炭素アルミ「PremiAL」シリーズを、ビルサッシ・カーテンウォールに、特注対応で展開します。

（1）対象製品　　LIXILのビル用サッシ、カーテンウォール
（2）受注開始日　　2026 年12月15日（火）
（3）対象地域　　東海地域 から順次展開
（4）販売元　　株式会社LIXIL

3．製品の導入予定施設



「プラウド名東一社ガーデン」
・所在地：名古屋市名東区高社一丁目
（名古屋市営地下鉄東山線「一社」駅 徒歩6分）
・事業主：野村不動産株式会社・東邦ガス不動産開発株式会社
・完成予定：2027年10 月下旬
・導入製品：ビル用サッシ「PRO-SE」
PremiAL＋新幹線再生アルミ仕様
・物件詳細について：https://www.proud-web.jp/mansion/n141060/index.html
・先進設備ｘ専有面積80㎡超中心(全46戸中28戸)、快適でゆとりのある暮らしを実現。

※野村不動産株式会社は国際的環境イニシアチブに参画し、グループ全体のCO_2排出量(Scope1,2,3)を、2030年までに2019年度比で35%削減する目標を掲げています。
※東邦ガスグループは、脱炭素社会に向けた具体的な数値目標として「2030年」「2040年」「2050年」の段階的な目標(マイルストーン)を設定しています。

4．今後の展望について

今後JR東海グループとLIXILは、『東海道新幹線再生アルミ』を活用した「PremiAL」シリーズの展開拡大をはじめとした両社の連携を深め、国内における資源循環を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

＜参考資料＞

■『東海道新幹線再生アルミ』がPremiAL製品になるまで

① 新幹線車両に使用されていたアルミを活用



リサイクルの主な対象は、廃車となった東海道新幹線車両の車体に使用されていたアルミ。

② 付着した不純物の除去



まず、アルミに付着した塗装などを取り除き、不純物が含まれていないスクラップ材料に加工する。

③ 高純度のアルミ合金を抽出



次に、不純物を除いたスクラップ材料を溶解・精製し、純度の高いアルミ合金のみを抽出する。

④ 再生アルミ合金ビレット（元素材）に成形



新幹線車両に使用されているアルミは強度が高いため、装飾だけでなく、建築材料や精密機械にも使用可能。

⑤ PremiAL製品に成形



新幹線再生アルミの合金ビレットを、用途に応じて成形し、PremiAL製品へと活用。

⑥各物件への納入



PremiAL＋新幹線再生アルミ仕様の製品を、様々な物件へ納入。
（写真は「プラウド名東一社ガーデン」）

■『東海道新幹線再生アルミ』とは

JR東海グループは、新幹線車両に使用されたアルミから付着物を取り除いて、高純度のアルミ合金のみを抽出する手法を開発（特許第6786689号）し、アルミのマテリアルリサイクルを実現しました。新たなアルミの製造には、膨大な電力を消費します。しかし、新幹線車両に使用されていたアルミを活用するなどスクラップ材料からアルミを再生する場合、消費エネルギーは新たなアルミを製造する場合と比べて「約3%」に抑えられます。

■両社のサステナビリティ活動について

・JR東海グループ

JR東海グループでは、地球環境保全を経営上の重要なテーマとして、さまざまな環境関連法令を確実に遵守するとともに、化学物質や廃棄物の適正な管理、削減に取り組んできました。また、廃棄物の適正な管理、削減に取り組み、資源の有効利用を進めています。

引き続き、東海道新幹線再生アルミの用途を拡大し、マテリアルリサイクルを通じて環境負荷の低減に取り組んでいくほか、東海道新幹線におけるアルミ以外の素材におけるリサイクルの可能性を今後検討してまいります。

・LIXIL

LIXILでは、環境ビジョン2050「Zero Carbon and Circular Living（CO_2ゼロと循環型の暮らし）」を掲げ、その実現に向け「資源の循環利用の促進」を重点領域に位置付けています。　中でも主要素材の1つであるアルミについては、2031年3月期までにハウジング事業で使用するリサイクルアルミの使用比率を100%にすることを目標に掲げ、循環型低炭素アルミ「PremiAL」シリーズを展開するほか、アルミ製造プロセスにおいて発生する廃棄物の再利用の取り組みや水平リサイクルを促進し、アルミのクローズドループリサイクルを目指しています。

About LIXIL
LIXILは、世界中の誰もが願う豊かで快適な住まいを実現するために、日々の暮らしの課題を解決する先進的なトイレ、お風呂、キッチンなどの水まわり製品と窓、ドア、インテリア、エクステリアなどの建材製品を開発、提供しています。ものづくりの伝統を礎に、INAX、GROHE、American Standard、TOSTEMをはじめとする数々の製品ブランドを通して、世界をリードする技術やイノベーションで、人びとのより良い暮らしに貢献しています。現在約53,000人の従業員を擁し、世界150カ国以上で事業を展開するLIXILは、生活者の視点に立った製品を提供することで、毎日世界で10億人以上の人びとの暮らしを支えています。
日本国内においては、「愛すべき日常を、つくろう。」をブランドスローガンとして掲げたLIXILをはじめとする、日本の住まいと暮らしに深く根差したブランドを幅広く展開しています。
株式会社LIXIL（証券コード: 5938）は、2026年3月期に1兆5,107億円の連結売上高を計上しています。
LIXILグローバルサイト：https://www.lixil.com/jp/

発行元
株式会社LIXIL（http://www.lixil.com/jp）
本社：東京都品川区西品川一丁目1番1号大崎ガーデンタワー24F
※このリリースは、LIXIL Newsroom（https://newsroom.lixil.com/ja/）でも発表しています。